

中期経営計画



進捗状況

ZEON

日本ゼオン株式会社

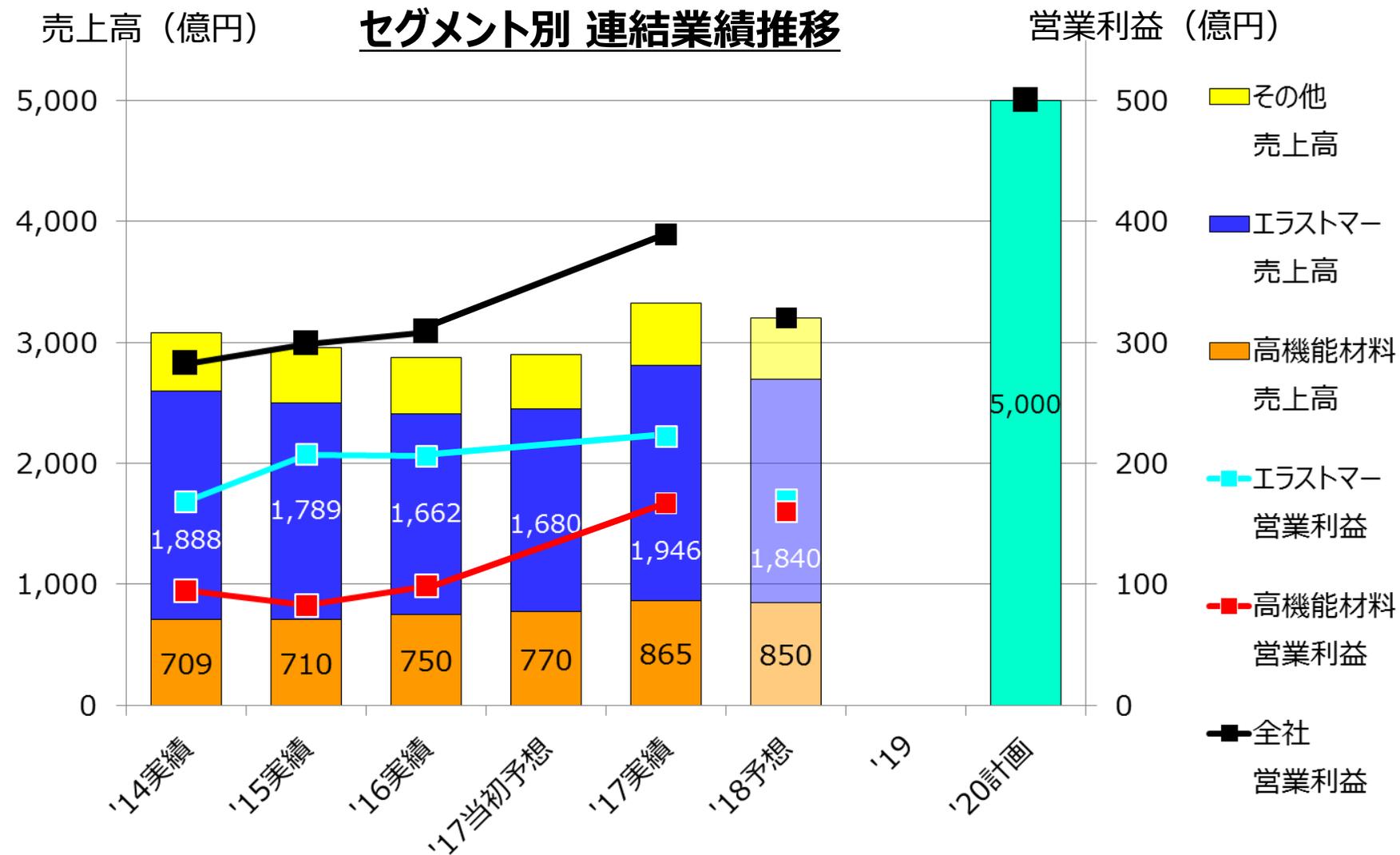
代表取締役社長 田中 公章

2018年4月27日

1. 2017年度業績と経営環境

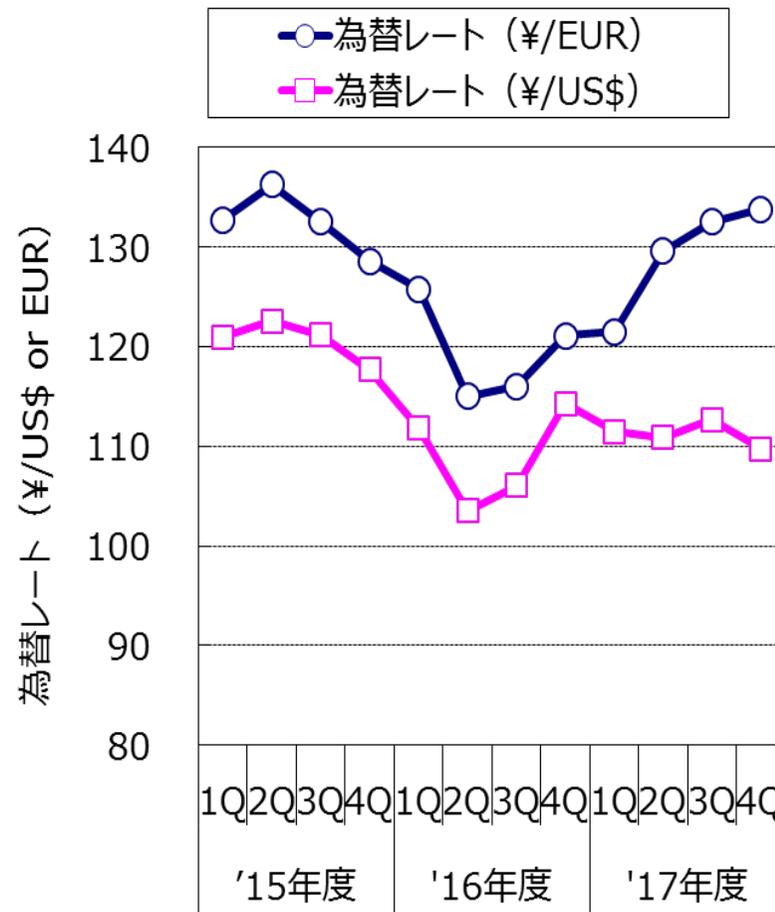
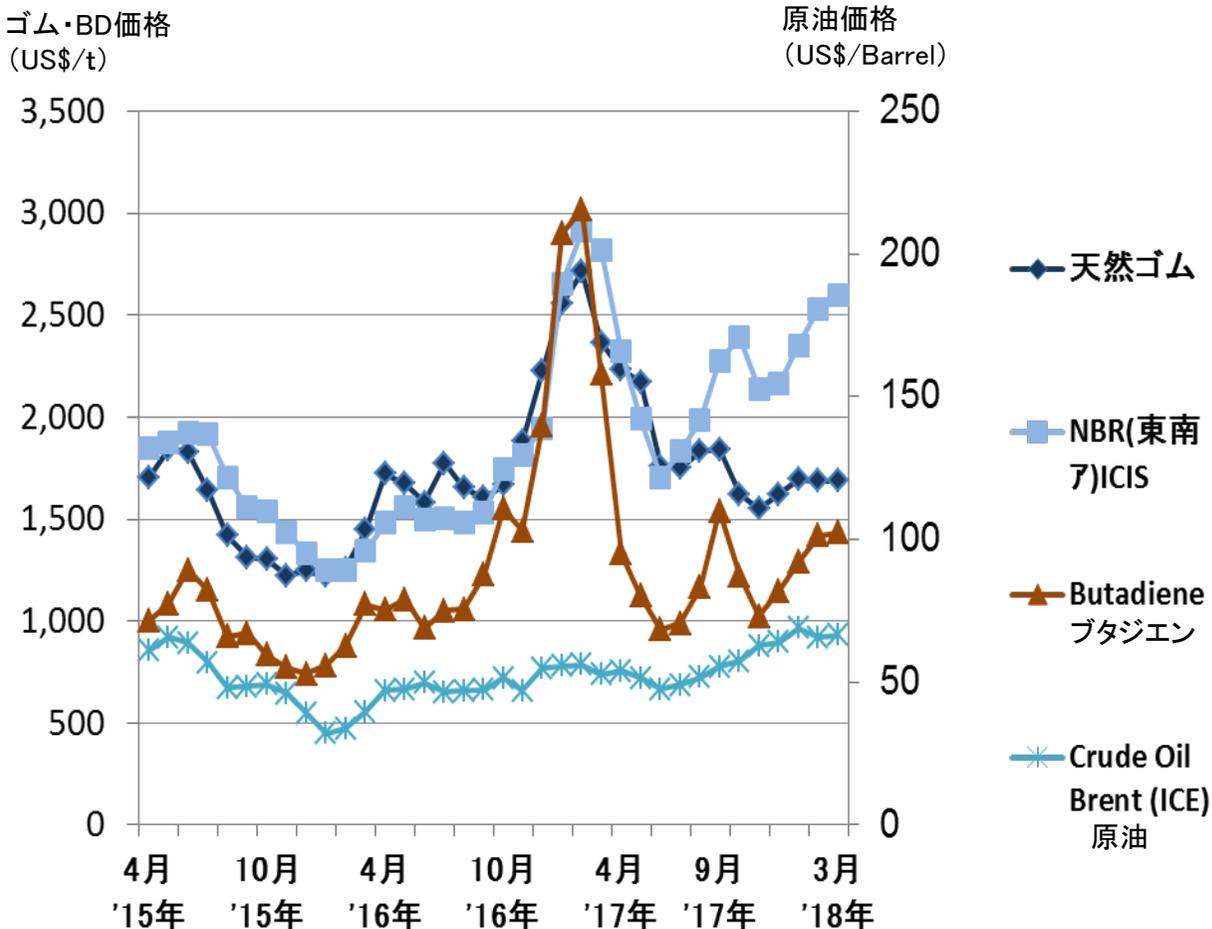
2. 事業トピックス

2018年度はエラストマー素材の原料環境は落ち着き価格軟化 高機能材料は堅調に推移



ブタジエンは2016年度の高騰から下落 NBRスプレッドは回復

ゴム市況と原油・ブタジエン市況



天然ゴム市況_シンガポール期近RSS#3 (出典: 合成ゴム月報) スポットBD_CFR東南アジア (出典: IHS)
 NBR市況_CFR東南アジア (出典: ICIS) 原油 Brent (ICE) (出典: IHS)

企業理念

CSR基本方針

ビジョン

2020年のありたい姿

- 化学の力で未来を今日にするZEON -
わたしたちゼオンは、一人ひとりの成長を通じて、
お客様の夢と快適な社会の実現に貢献し続けます

重要な価値観

スピード

対話

社会貢献

大切にする
ゼオンらしさ

— 仲間との相互信頼 —

SZ-20
('11-'13)

Phase II
('14-'16)

Phase III
('17-'20)

SZ-20 PhaseⅢ 全社戦略

成長

① オールゼオンの強みを組み合わせる『**深化**』と、壁を越えて外部と連携する『**探索**』によって、世界中に**ソリューション**を提供し、社会に貢献する。

② 『重点開発領域』での**新事業創出、新製品開発を加速**する。重点開発領域：地球環境、スマート化、健康と生活

風土

③ **多様な考え方を活かし、まずやってみて、前向きに行動することを尊重する組織風土を育成する。**

事業セグメント別戦略

エラストマー素材事業

- ・成長市場へのグローバルな対応とコスト競争力強化によって、強みを発揮できる事業を更に深化させる。
- ・蓄積してきた市場からの信頼とお客様との関係を活かして、新たな可能性を探索し、成長に繋げる。

高機能材料事業

- ・重点的なリソース投入と外部との連携強化によって、市場成長と技術発展のスピードに対応して事業を拡大する。

事業セグメント別戦略

エラストマー素材事業

- ・成長市場へのグローバルな対応とコスト競争力強化によって、強みを発揮できる事業を更に深化させる。
- ・蓄積してきた市場からの信頼とお客様との関係を活かして、新たな可能性を探索し、成長に繋げる。

高機能材料事業

- ・重点的なリソース投入と外部との連携強化によって、市場成長と技術発展のスピードに対応して事業を拡大する。

技術・生産のシナジー効果で世界のリーディングポジションを目指す

住友化学および日本ゼオン両社のポリマー変性技術および生産技術を組み合わせ、自動車の軽量化とともに待望されているタイヤの「ウェットグリップ性」「低燃費性」「耐摩耗性」の向上を実現していきます。



iceGUARD 6
YOKOHAMA

YOKOHAMA

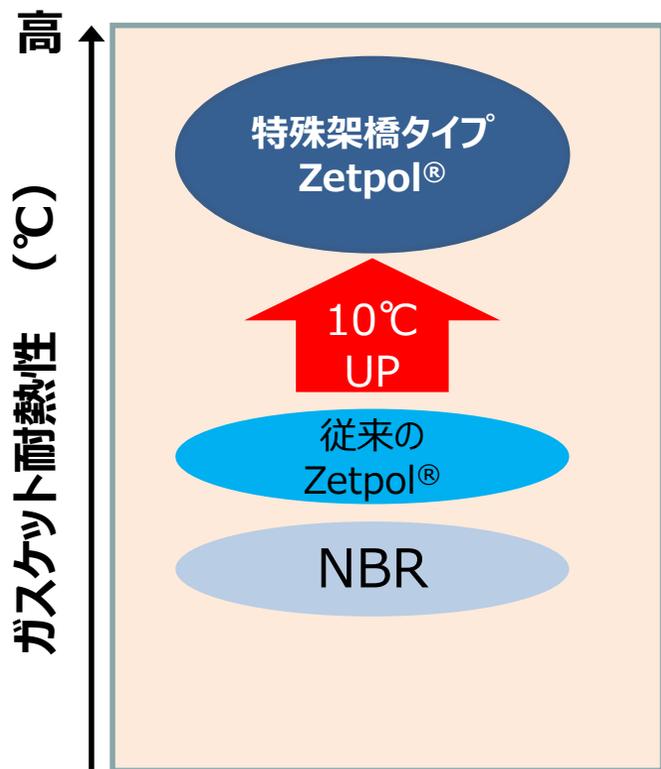
横浜ゴム株式会社の最新スタッドレスタイヤに
当社の溶液重合ゴムが採用

S-SBR販売数量見通し



更なる成長が期待されるドライ品の生産能力を増強

- 高いガスケット耐熱性が評価され、オイルシール用途などで採用が拡大
- 四輪車の燃料系ホース用途にも新たに採用が決定



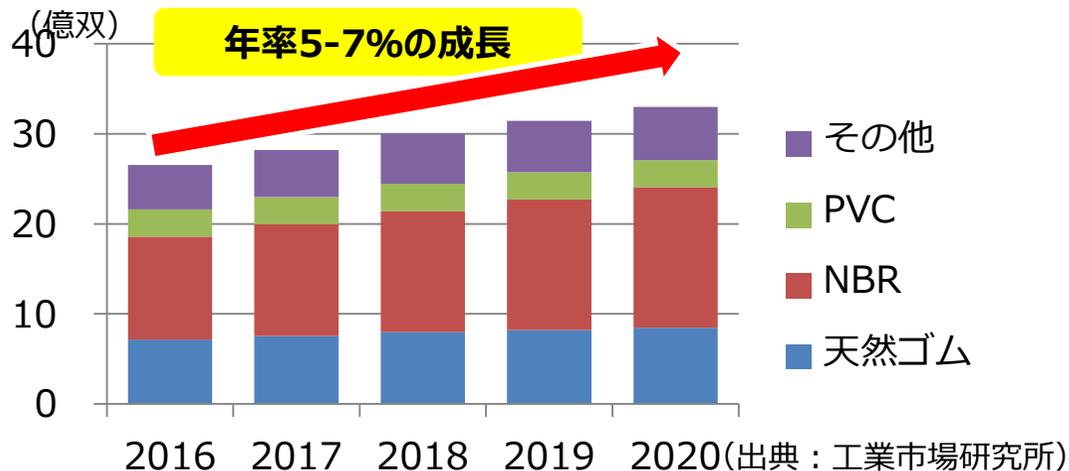
特殊架橋タイプ Zetpol® 生産設備
(川崎工場)

特殊架橋タイプ Zetpol®
販売数量実績と見通し

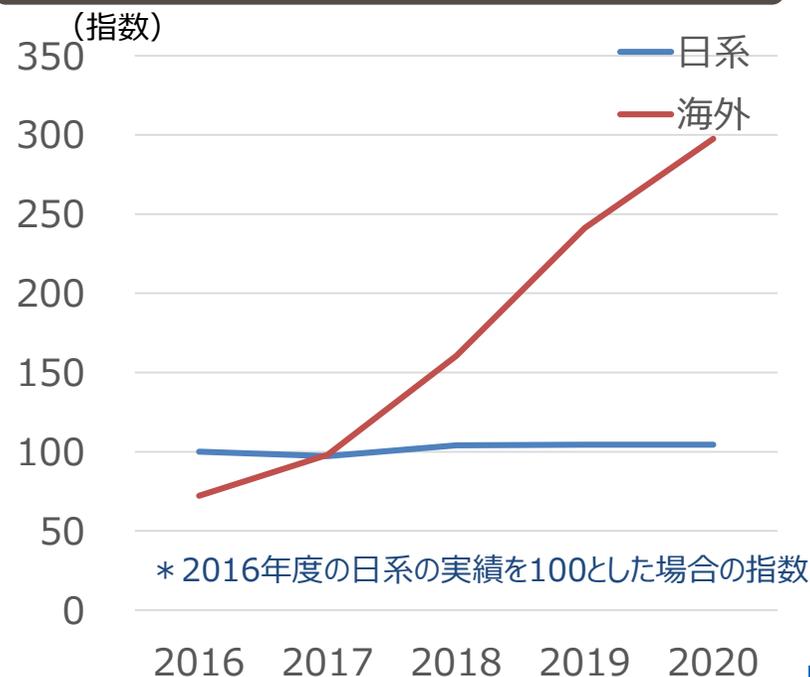


成長する作業用手袋市場において新製品で販売の拡大を目指す

世界の作業用手袋市場



海外向け拡販の推進



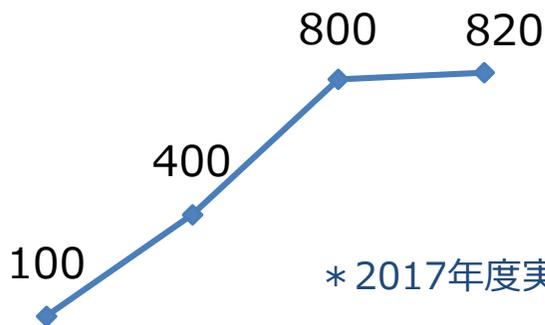
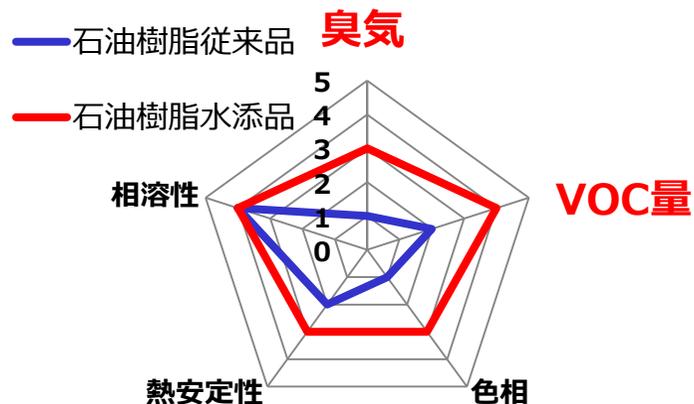
作業用手袋用ラテックス販売数量実績と見通し



製品の差別化を達成しながら事業規模拡大を目指す

石油樹脂

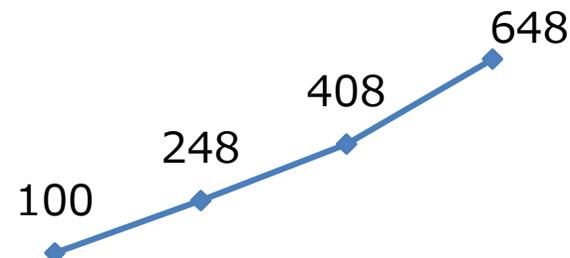
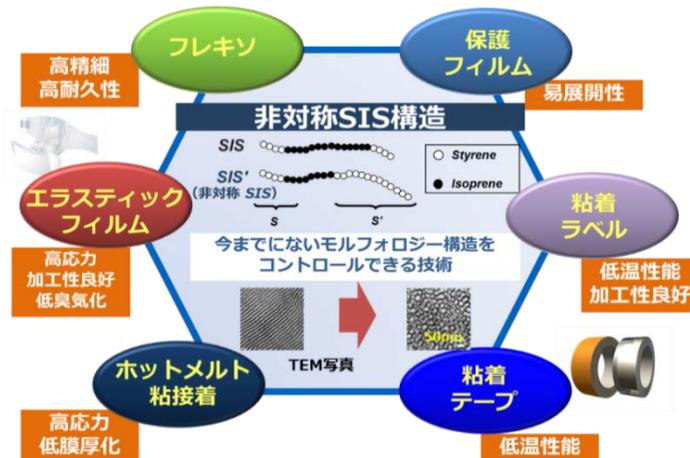
当社独自技術による水添化設備導入



2017 2018 2019 2020
水添石油樹脂の販売数量見通し

SIS

非対称SISの更なる市場展開によって、SISの活躍出来るフィールドを広げる



2017 2018 2019 2020
非対称SIS 販売数量見通し

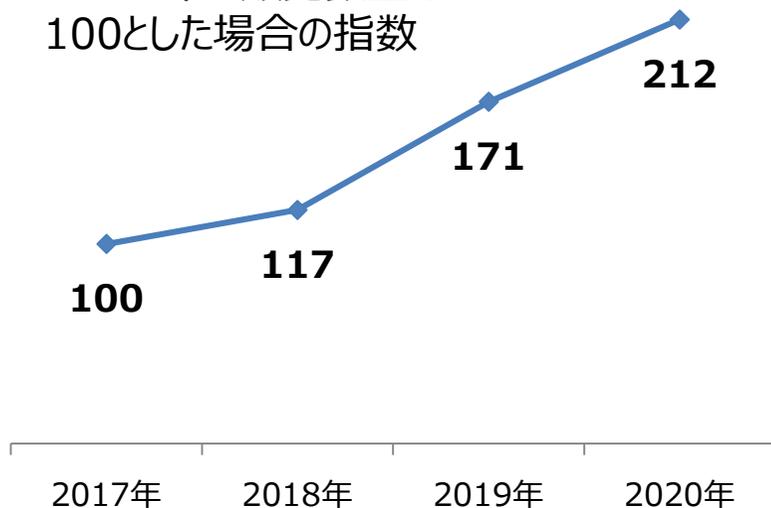
日本、中国、メキシコの3拠点体制で、拡大する市場に対応

P S C 生産体制

- ◆ 日本 2,000t
- ◆ 中国 2,400t
- ◆ メキシコ 1期：1,200t（2018年1月本格稼働）
2期：1,200t（2020年稼働予定）

P S C 販売数量見通し(グローバル)

* 2017年の販売数量を
100とした場合の指数



パウダースラッシュコンパウンド (PSC)

- ・PVCを原料とするスラッシュ成型用コンパウンド
- ・意匠性、成形加工性、低温特性に優れる

PSC用途：内装材表皮



メキシコのPSC工場

事業セグメント別戦略

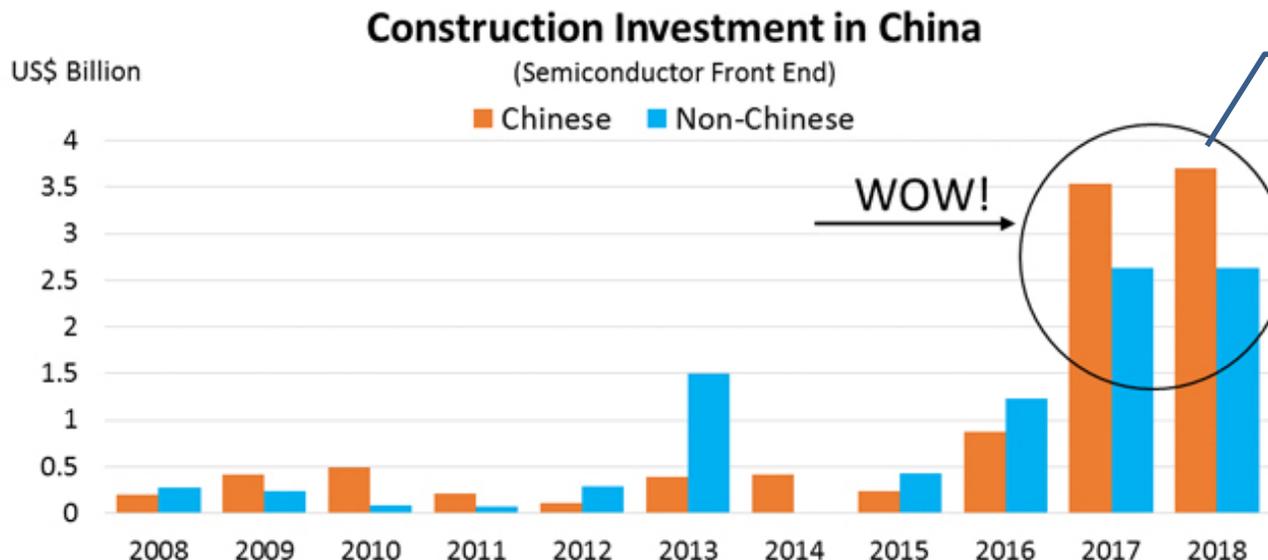
エラストマー素材事業

- ・成長市場へのグローバルな対応とコスト競争力強化によって、強みを発揮できる事業を更に深化させる。
- ・蓄積してきた市場からの信頼とお客様との関係を活かして、新たな可能性を探索し、成長に繋げる。

高機能材料事業

- ・重点的なリソース投入と外部との連携強化によって、市場成長と技術発展のスピードに対応して事業を拡大する。

市況：中国における投資動向



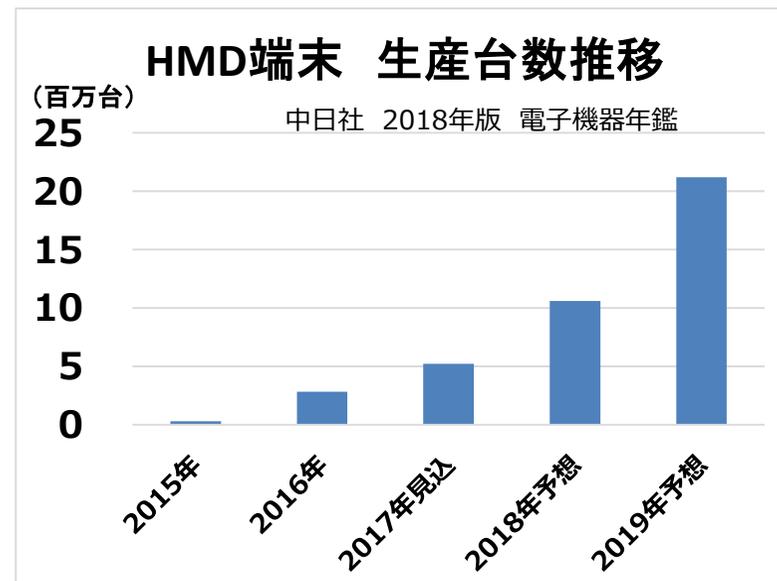
スマートフォンや車載機器の高度化、大容量化に伴い、デバイスプロセスの線幅微細化や3D化が進行

Source: World Fab Forecast report (December 4, 2017). SEMI
※資料: SEMI通信 2017年12月号 Report1 より

ZEONEX® (ゼオネックス) の特徴 ZEONOR® (ゼオノア)

- ・ 不純物が非常に少ない
- ・ 水分透過性が低い



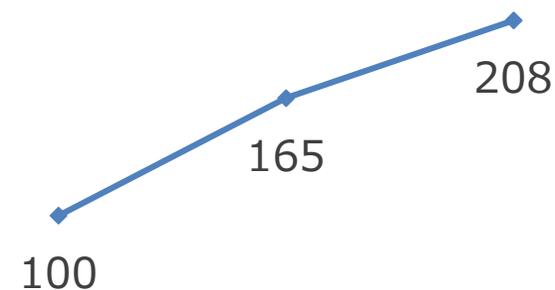


ZEONEX® (ゼオネックス) の特徴

- 低吸湿性
- 高透明性
- 精密な光学特性
- 精密成形性

HMD端末向けレンズ材料として好適です。

HMD末端向けレンズ材料販売数量見通し



* 2016年度実績を100とした場合の指数

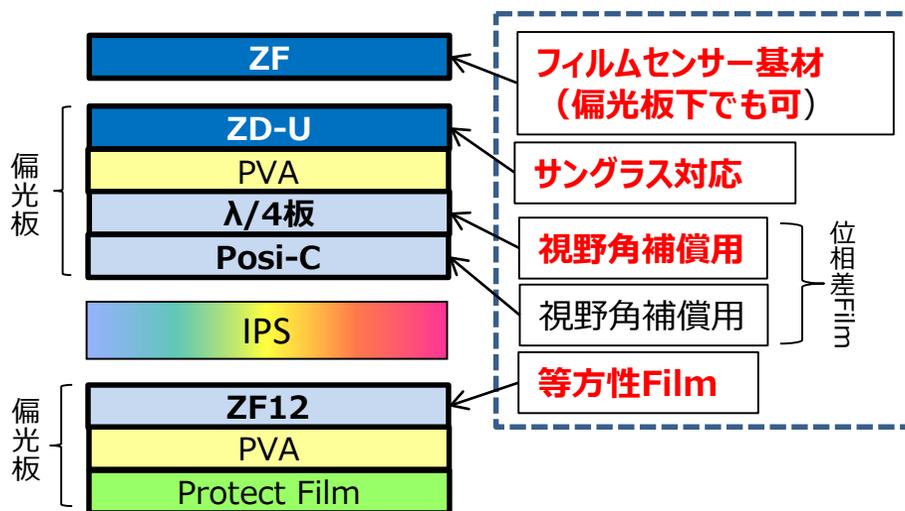
2016年

2017年

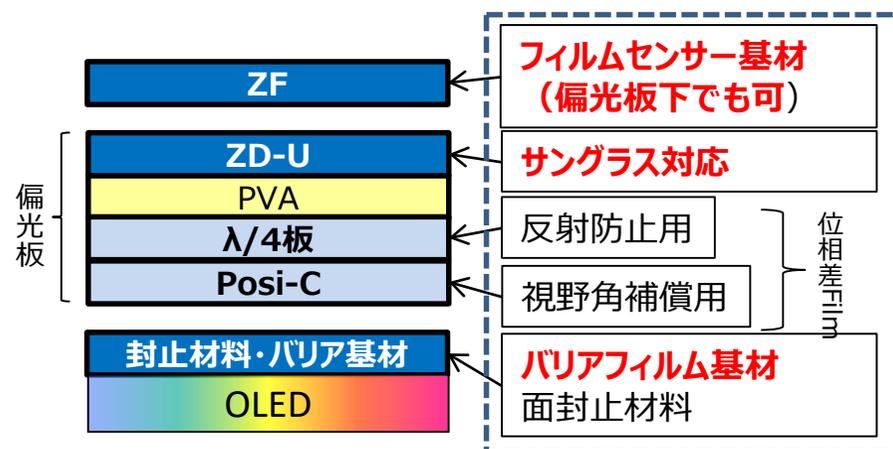
2018年

LCD市場、OLED市場で弊社製品の展開

LCD - IPS模式図



OLED模式図

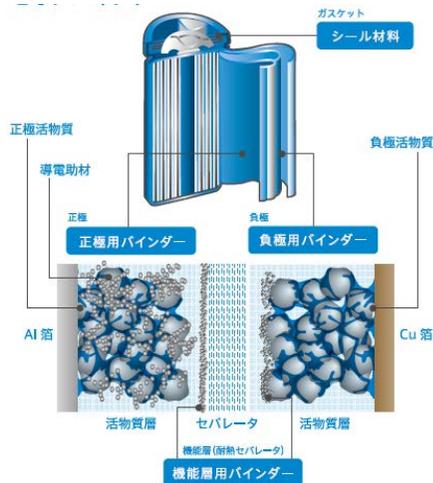


■ 中小型市場において、LCD/OLED共に弊社製品を採用頂いている状況。これらアイテムを拡販しながら、OLEDの位相差フィルム(ZA,液晶塗布)への新規採用に向けた取り組みを継続して行う。

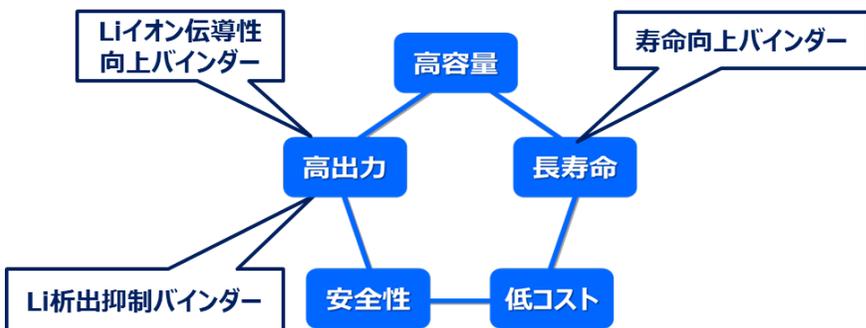
■ フォルダブル対応として屈曲性に優れたフィルム(ZC-Film)を開発中

エネルギー材料事業は、製品群を拡大させ事業拡大

ゼオンのリチウムイオン電池向け製品

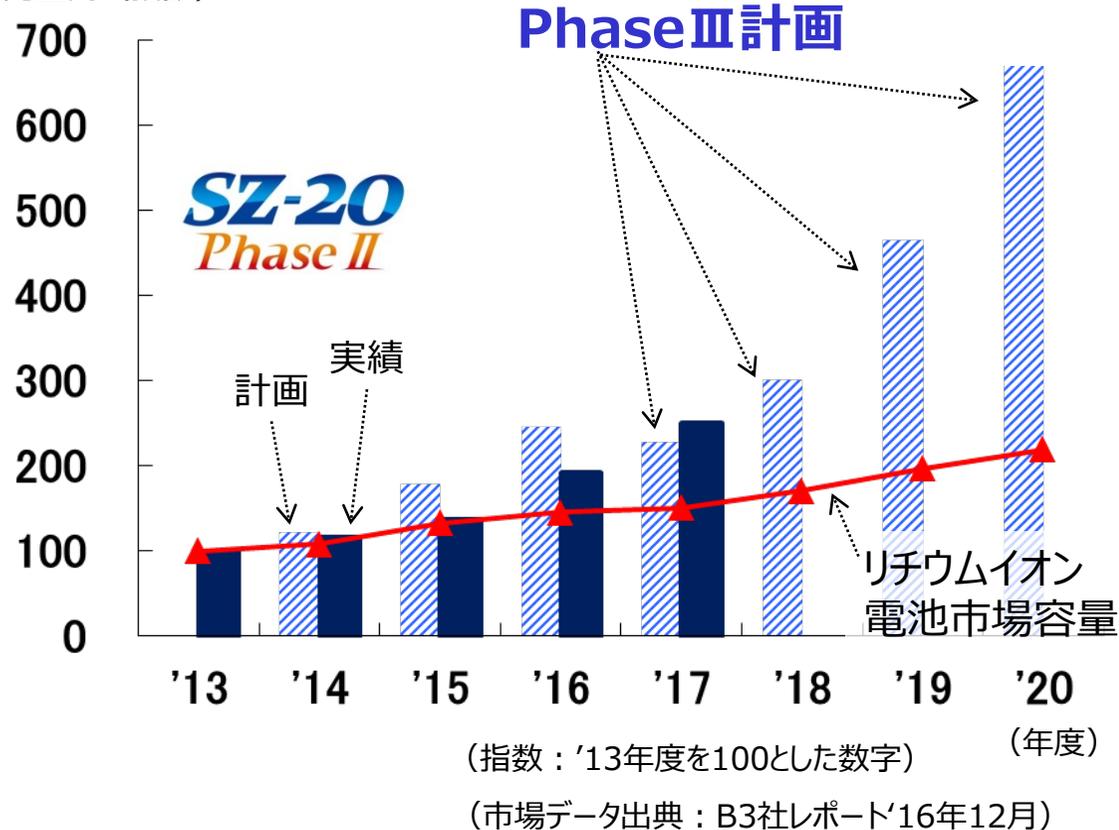


セル5大特性とゼオンの提案



ゼオンの電池材料売上高

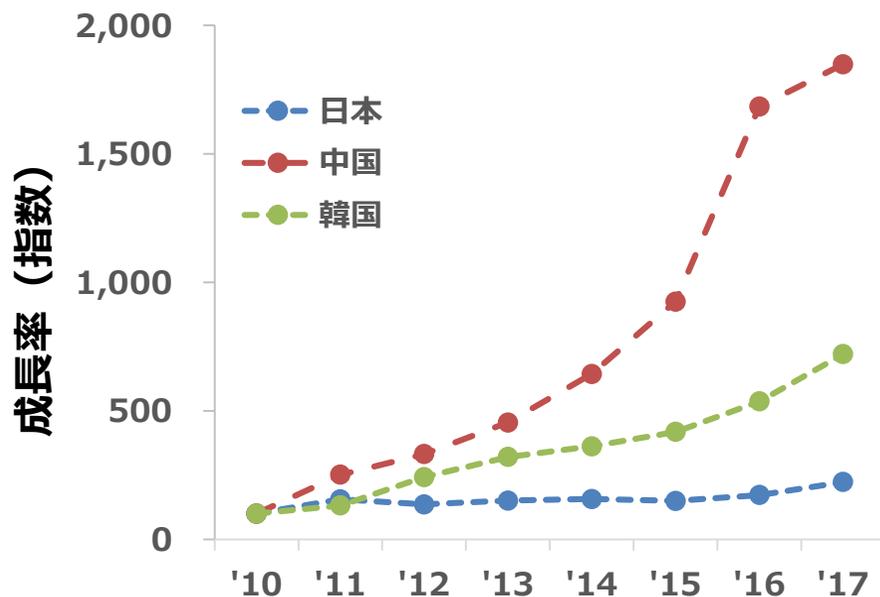
売上高 (指数)



自動車向けにおいても事業拡大。成長する中国・韓国向けに販売拡大。

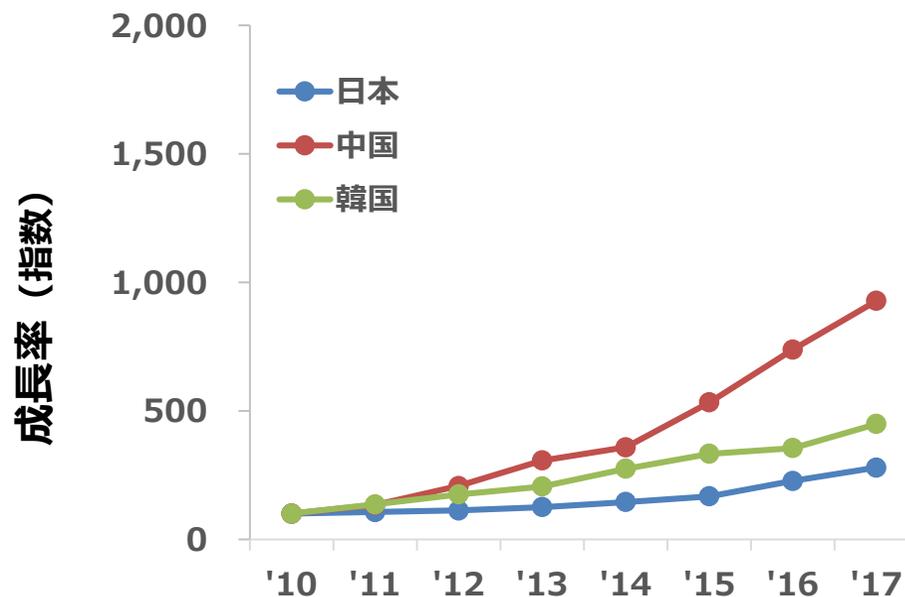
1. 自動車向けの製品を増やし事業拡大
→'10年対比、'17年は市場成長（自動車LIB市場4倍）を大幅に上回り拡大
2. 市場成長率の高い、中国、韓国向けに販売増加
→'10年対比、中国向け売上は18.5倍（市場9.3倍）、韓国向けは7.2倍（市場4.5倍）

エネルギー用部材の地域別売上推移



* 指数は2010年度を100とする

地域別リチウムイオン生産量推移

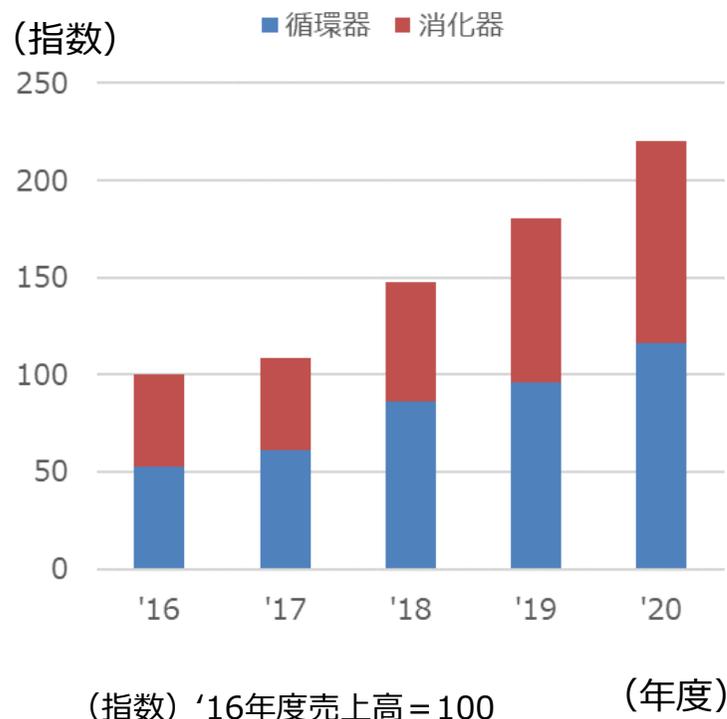


* 指数は2010年度を100とする

* 市場データは、B3社レポート(2016年1月)に基づく

FFRデバイス、胆石除去・消化管ステント事業を拡大

ゼオンのメディカルデバイス売上高



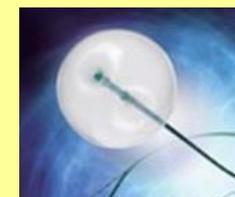
循環器系：精度と信頼度の向上でシェア拡大

光センサー型FFRで2020年度市場シェア30%を目指す

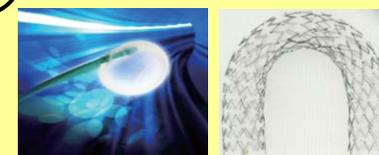


消化器系：低侵襲デバイスの提供に注力

17年度上市アイテム
大口徑胆石除去バルーン



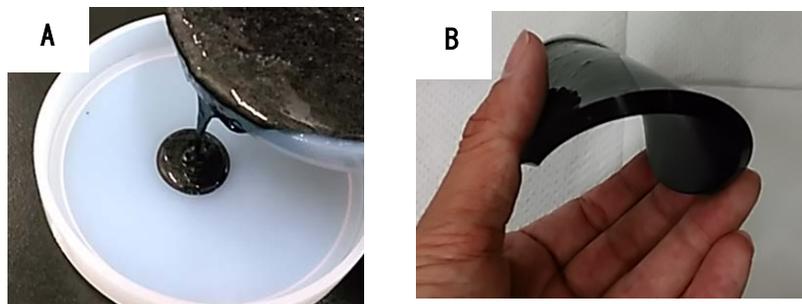
18年度上市予定アイテム
新型胆石除去バルーン
新型胆管ステント



<ZEONANO® SG101を用いた電磁波遮蔽用途>

日本ゼオン・サンアロー・産総研CNT複合材料研究拠点での研究開発の成果
(2018年2月に産総研がニュースリリース発信済)

カーボンナノチューブを用いた電磁波遮蔽コーキング材を開発



今回開発した電磁波遮蔽コーキング材
A：硬化前
B：硬化後

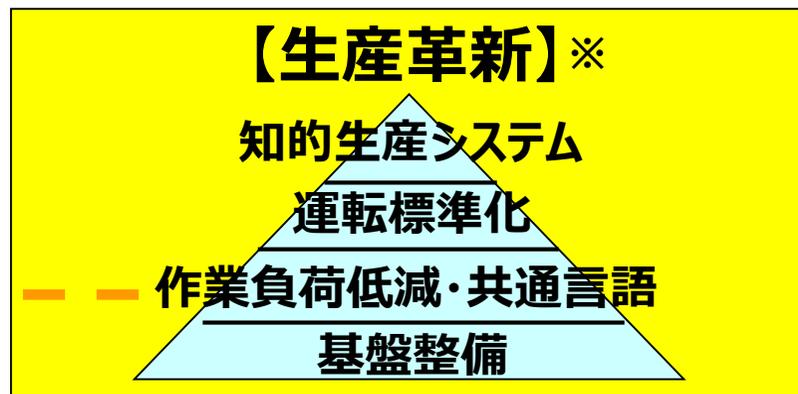
電子機器を設置する空間における、
電磁波隔離・遮蔽ニーズに対応

- ・ZEONANO® SG101を常温大気硬化型液状ゴムと複合化
- ・開発したコーキング材は隙間などの塗布・充填性に優れ、金属との接着が可能
- ・遮蔽材間の隙間などからの電磁波の侵入を防ぎ、コーキング材が割れずに振動やひずみを吸収

2018年2月に開催されたナノテク展（国際ナノテクノロジー総合展・技術会議）に出展

革新・改善活動を継続

※生産革新：
ダイセル式生産革新手法



トップダウンで推進

コスト競争力強化
人材育成
風土改革

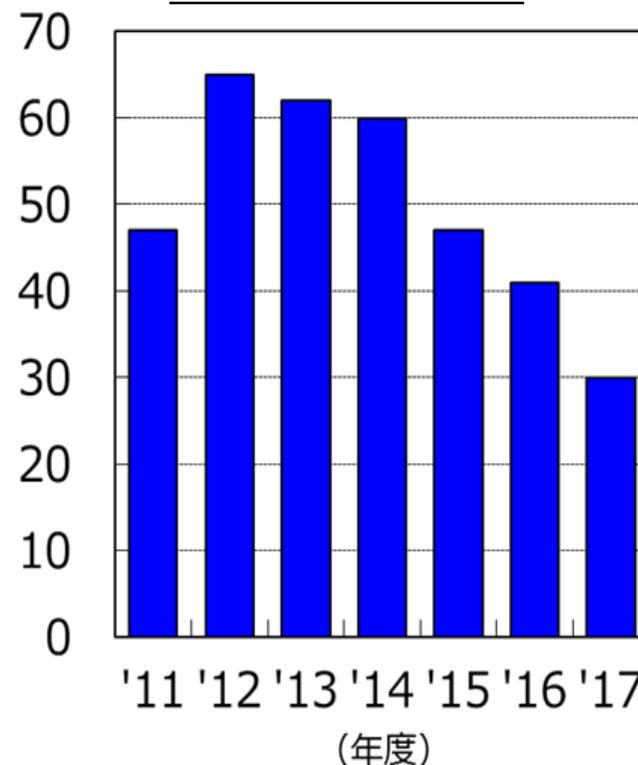
ボトムアップで活動

【ZΣ活動】

- ★コストダウンテーマ
- ★サークルテーマ（小集団活動）
- ★コスト意識醸成・教育

テーマ化

(億円) **ZΣ活動 効果額**



2020年のありたい姿

『化学の力で未来を今日にするZEON』

-わたしたちゼオンは、一人ひとりの成長を通じて、
お客様の夢と快適な社会の実現に貢献し続けます-

2020年度連結売上高 5,000億円以上

スピード

対話

社会貢献

－仲間との相互信頼－

以上

本資料に掲載されている当社の計画、見通しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

ZEON

日本ゼオン株式会社 CSR統括部門 広報室
東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル
Tel:03-3216-2747, Fax:03-3216-0501